



# 2020年3月期 第2四半期 決算補足説明資料 (連結)

2019年10月30日  
株式会社テセック

# *High light*

## 上期は売上4割減で営業利益大幅減

- ・ 稼働低下し、売上総利益が減少
- ・ 上期の受注は前年下期を上回る

## 本格的受注回復に至らず通期予想修正

- ・ 期初の想定から半年程回復が遅れる見通し
- ・ 業績予想を踏まえ、配当予想を修正

# 売上4割減に伴う粗利益減少で営業利益は大幅減

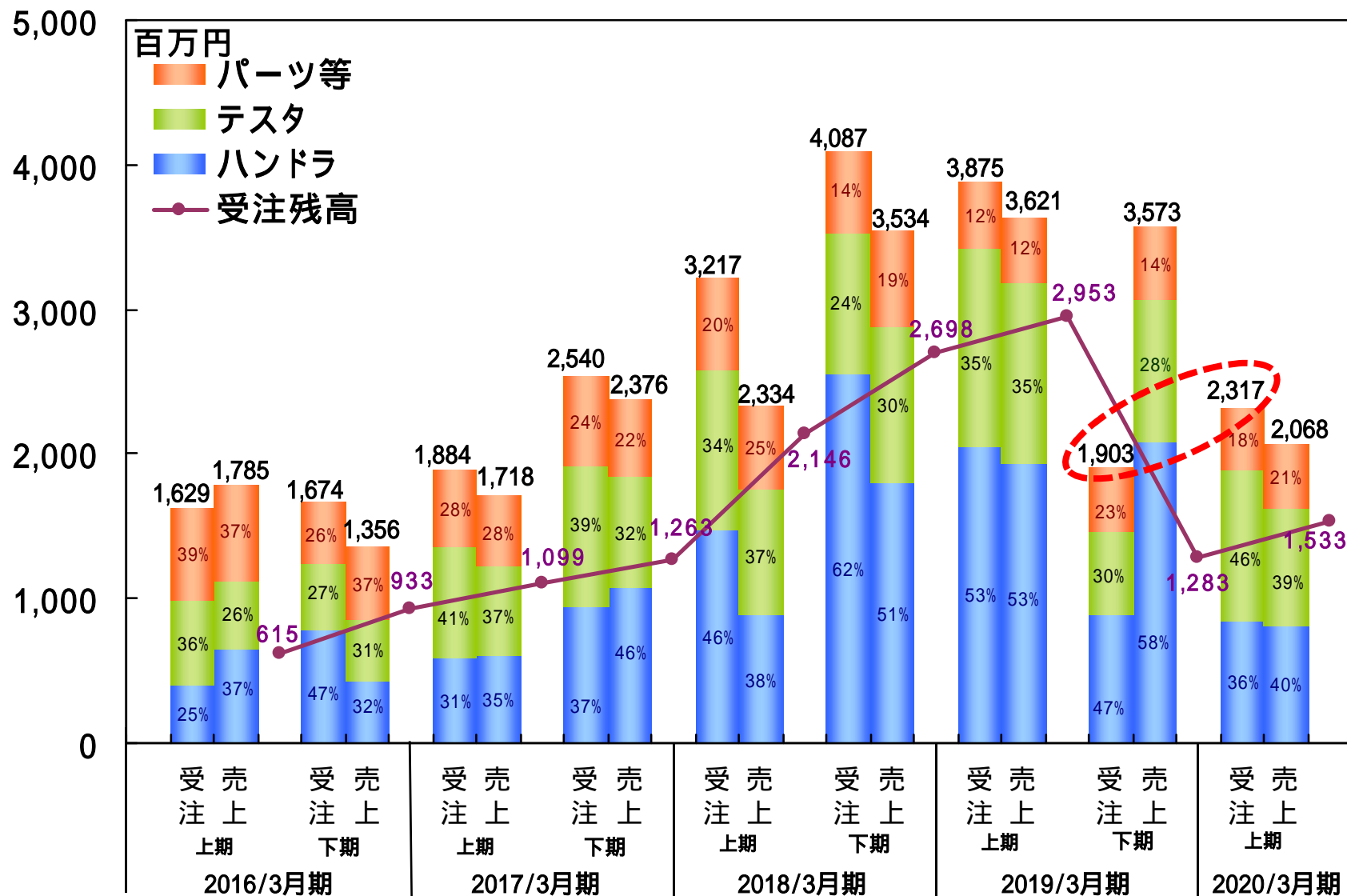
- ・ハンドラ売上が6割減となり、テスト売上と同水準に。
- ・稼働低下により、原価率は8.2P上昇し63.6%に。

	2019年3月期				2020年3月期			
	上期		下期		上期		対前年同期	
		百分比		百分比		百分比	増減額	増減率
売上高	3,621	100.0%	3,573	100.0%	2,068	100.0%	▲1,553	-42.9%
ハンドラ	1,935	53.4%	2,073	58.0%	816	39.5%	▲1,119	-57.8%
テスト	1,258	34.8%	998	28.0%	813	39.3%	▲444	-35.3%
パーツ等	428	11.8%	501	14.0%	438	21.2%	+10	+2.4%
売上原価	2,004	55.4%	2,257	63.2%	1,314	63.6%	▲689	-34.4%
売上総利益	1,617	44.6%	1,315	36.8%	753	36.4%	▲863	-53.4%
販管費	786	21.7%	932	26.1%	691	33.4%	▲95	-12.2%
研究開発費	109	3.0%	165	4.6%	118	5.7%	+9	+8.6%
営業利益	830	22.9%	383	10.7%	62	3.0%	▲768	-92.5%
経常利益	943	26.0%	430	12.0%	107	5.2%	▲835	-88.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	770	21.3%	277	7.8%	61	3.0%	▲708	-92.0%
為替レート	107.91 円/USD		110.14 円/USD		107.66 円/USD			

営業利益の 増減要因 (前年同期比)	
減収効果	▲691
原価率上昇	▲168
開発投資増加	▲9
為替変動	▲1
コスト削減他	+102
計	▲768

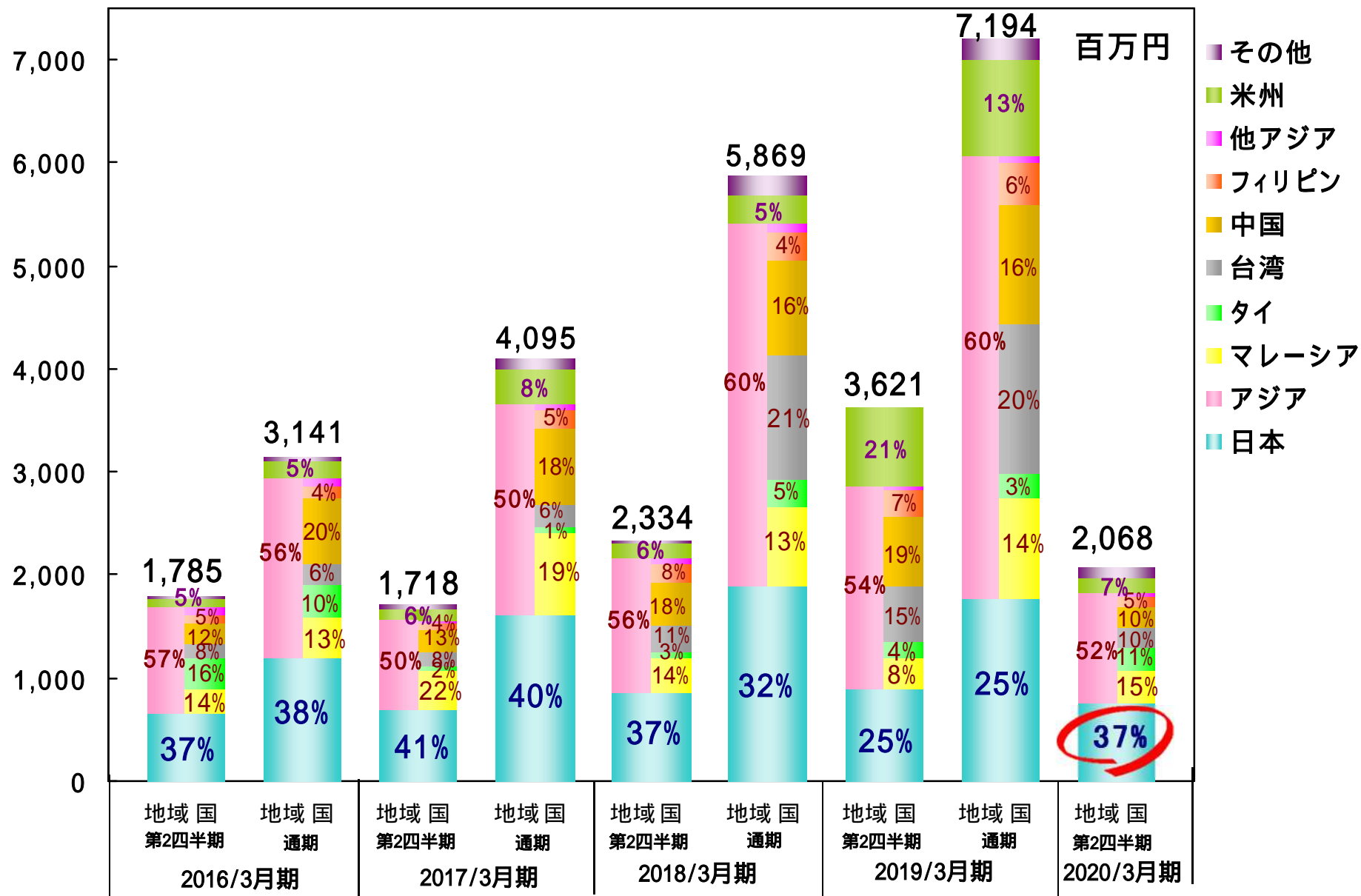
# 受注は本格回復に至らないが、前年下期を上回る

- ・テストは1Qに国内の受注が増加。中国でも引き合いは多い。
- ・ハンドラは海外大手半導体メーカーの受注回復が遅れている。



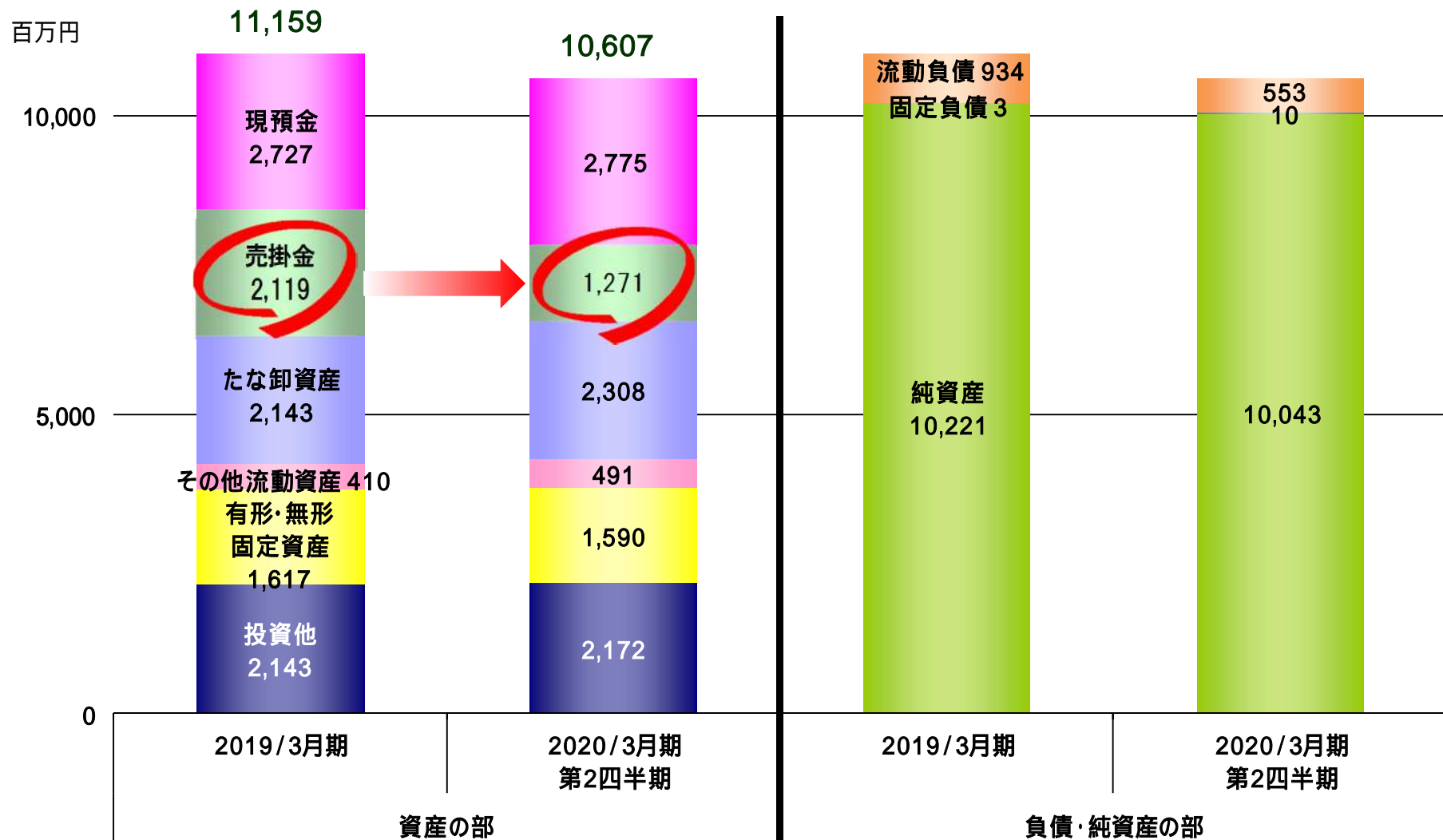
# ハンドラ海外売上減で国内比率が37%に上昇

・前年上期はメキシコ向けハンドラの特需があり米州比率上昇。



# 売上減少の一方、売掛金の回収が順調に進む

・買掛金など負債も減少し、総資産106億、自己資本比率95%



# 本格的な受注回復に至らず、通期予想を下方修正

- ・期初において年央での受注回復を想定。立ち上がりが3～6ヵ月遅れる見通し。
- ・通期売上は前期比3割減。営業利益2.8億。(下期は上期比では増収増益)

	2019年3月期 (通期) 実績		2020年3月期(通期)					
			期初予想 2019.5.14		修正予想 2019.10.29		対前年	
		百分比		百分比		百分比	増減額	増減率
売上高	7,194	100.0%	5,800	100.0%	4,900	100.0%	▲2,294	-31.9%
ハンドラ	4,008	55.7%	2,500	43.1%	2,000	40.8%	▲2,008	-50.1%
テスト	2,256	31.4%	2,200	37.9%	1,900	38.8%	▲356	-15.8%
パーツ等	929	12.9%	1,100	19.0%	1,000	20.4%	+70	+7.6%
売上原価	4,261	59.2%	3,500	60.3%	3,120	63.7%	▲1,141	-26.8%
売上総利益	2,933	40.8%	2,300	39.7%	1,780	36.3%	▲1,153	-39.3%
販管費	1,718	23.9%	1,700	29.4%	1,500	30.6%	▲218	-12.7%
研究開発費	275	3.8%	360	6.2%	300	6.1%	+24	+9.1%
営業利益	1,214	16.9%	600	10.3%	280	5.7%	▲934	-76.9%
経常利益	1,373	19.1%	620	10.7%	330	6.7%	▲1,043	-76.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,047	14.6%	500	8.6%	230	4.7%	▲817	-78.0%

(百万円)

営業利益の  
増減要因  
(前期比)

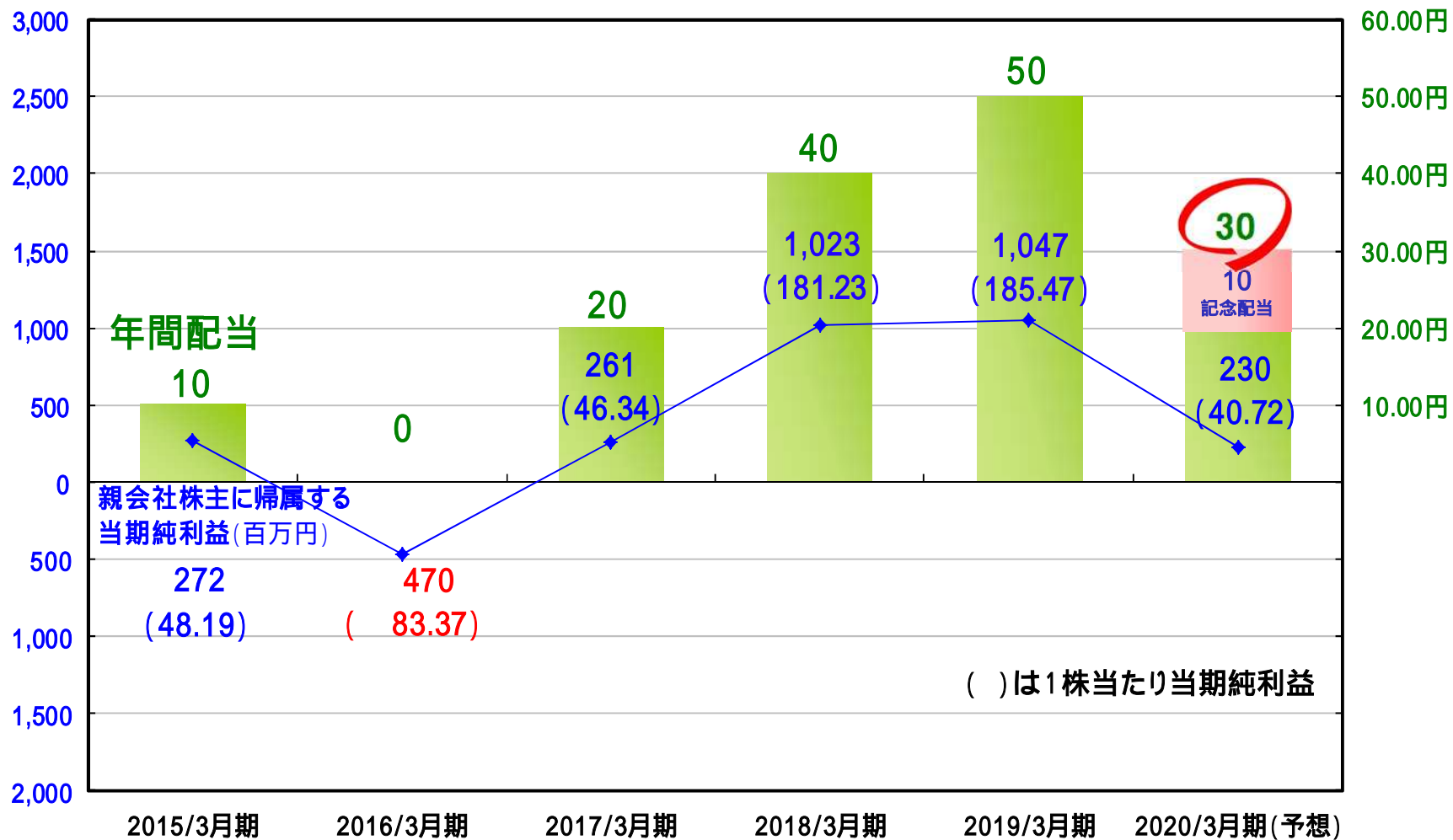
減収効果	▲ 914
原価率上昇	▲ 218
開発投資増加	▲ 25
為替変動	▲ 21
コスト削減他	+ 244
計	▲ 934

為替レート	109.07 円/USD	110.00 円/USD	108.00 円/USD
-------	--------------	--------------	--------------

※2020年3月期 米ドル為替感応度(1円変動時の営業利益への影響見込) : 約10百万円/年

# 業績予想を踏まえ、配当予想を10円減の30円に修正

- ・創立50周年記念配当(10円)を含む。
- ・予想配当性向74%(前期実績27%)。





The logo for TSECC (Tokai Securities Exchange Center) is displayed in a stylized, blue-outlined font at the top left of the page.

## ご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。